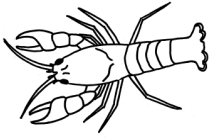


目標 絶滅危惧種について知ってもらい、環境についての考えを深めてもらおう

資料	説明メモ	時間
	導入（山崎） ・これは何？ → よく見かけるアメリカザリガニではない ・これはニホンザリガニ ・昔は日本全国で見られたが、今はなかなか見つけられない ・絶滅危惧種	1分
絶滅危惧種 ・絶滅の危機にある生物 ・1万7千種以上	絶滅危惧種とは（杉本） ・絶滅危惧種とは絶滅の危機にある生物 ・世界中で 1万7千種以上 ← みんなに予想させてから ※なぜ、絶滅の危機にあるのか（問いかけ） ニホンザリガニを例に	2分
原因 ・人間による移動 ・乱獲 ・生存環境の破壊	ニホンザリガニの減少の理由（荒木） ・外来種による伝染病、生態系の破壊 ・食用としての人間の乱獲 ・環境破壊による生息場所の減少 ※このまま多くの種が絶滅するとどうなるか	1分
A	生物の絶滅が進むと（板野） ・自然はつながり合って回っている （1つの例として）植物→酸素を出す→動物が吸う→動物が死ぬ→死んで植物の栄養となる ・自然の連環がうまくいかなくなると、人間も生きていけない	1分
私たちにできること ・自然を守る ・生物を移動させない ・獲りすぎない	私たちにできることアピール（岡田） ・生き物の住める自然環境を守る ・生き物をむやみに移動させない ・乱獲を防ぐ（個体数を減らさない努力） → 『ありのままの自然を守っていく』	1分

◇次の図は板野さんのグループが発表のために考えた進行案です。

	a 百科事典
c インターネット	
	b ラジオ
d テレビ	

【様々な情報手段を活用して材料を集める】



問一 今回の調査方法として効果的なものに○、そうでないものに×を付けなさい。

★絶滅危惧種についてプレゼンテーションしよう

◇板野さんの学級で、自然環境について学習した後の発展学習として、班ごとに環境問題について調べ発表することになりました。板野さんのいる二班では班会議の結果、絶滅危惧種（絶滅の危機にある生物）について調べることになり調査を始めました。

二年
国語
G アップシート
話聞1

組
番・氏名

問二 この発表から予想される聞き手からの質問として適当なものをア～オから一つ選びなさい。

【聞き手の意見や質問を予想して話す】

- ア 生物が絶滅していくことに、どんな問題点があるのですか
- イ 食用とありましたが、ザリガニを食べるとどんな味がするのですか
- ウ ニホンザリガニとアメリカザリガニは何が違うのですか
- エ 外来種による生態系の破壊とは具体的にはどういうことですか
- オ 絶滅危惧種とはいったいどういう種なのか教えて下さい。

問三 この発表の中で最も強く伝えたい部分はどの部分でしょうか。その部分を担当する発表者の名前を書きなさい。

【話の中心と付加的な部分との関係に注意して話す】

問四 この発表の構成の工夫について述べたア～エのうちで、最も適当なものを一つ選びなさい。

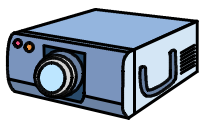
【分かりやすい構成や展開を考えて話す】

- ア 最初に絵を使って問題に対する聞き手のイメージを深めさせ、中間部分から最後まで口頭のみで詳しい説明をしている。
- イ 最初に結論を述べ、中間部分で具体例を用いて詳しく説明していき、最後にこれからの取り組みのアピールをしている。
- ウ 最初に主張を述べ、中間部分ではその根拠となる具体例を提示して話しを進め、最後にもう一度、主張を述べてまとめている。
- エ 最初に具体例で注意を引き、問いかけを使って考えさせながら話を展開して、最後に普段の行動につなげるよう訴えている。

問五 資料の提示の仕方を班で話し合い、板野さんは「プロジェクターで大きなスクリーンに映し出して説明した方がいい」と提案し、杉本さんは「紙に印刷した物を配った方がいい」と提案しました。それぞれの意見のメリットとなるものを、次のア～オから一つずつ選びなさい。

【機器を活用して要点を示す】

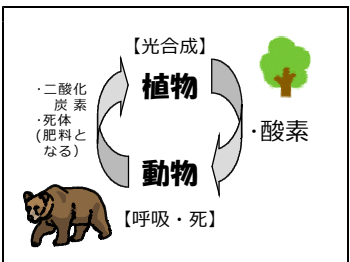
- ア 聞き手が余計なことを考えず、話に集中することが出来る
- イ 発表が終わった後も、聞き手が資料を見直すことが出来る
- ウ 聞き手が話し手と資料を同時に見ながら話を聞くことが出来る
- エ 話し手が聞き手の視線を気にせずに、話に集中することが出来る
- オ 話し手にミスがあった場合、すぐにそれを訂正することが出来る



板野	
杉本	

問六 進行案の資料Aの部分が空らんになっています。この部分に入る資料として最も適当なものをア〜エから一つ選びなさい。

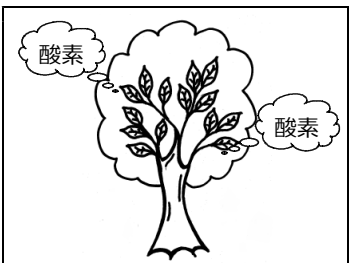
ア



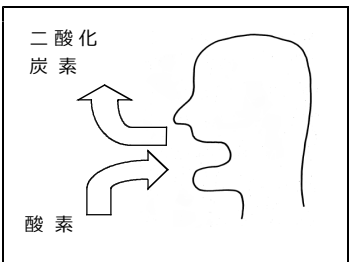
イ

自然のつながり
 ・植物が光合成→酸素を出す
 →動物が吸う
 ・動物が死ぬ→死んで植物の栄養となる

ウ



エ



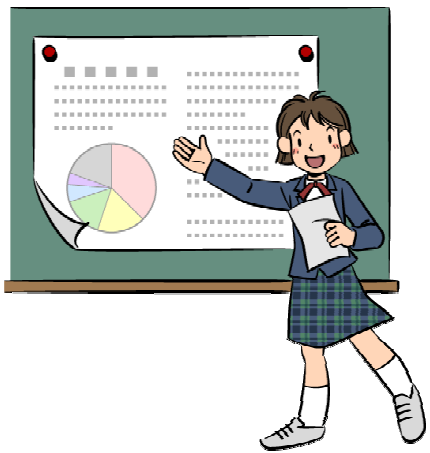
◇学級内で二班の発表が行われ、その後に質疑応答が行われました。次はその一部分です。

司会 質問のある人は挙手をしてください。では、和田さん、どうぞ。
 和田 はい。ニホンザリガニが減って、アメリカザリガニが増えたそうですが、それによって人間が何か困ることはあったのですか。
 司会 二班、お願いします。
 板野 目に見えて人間が困ることは今はあまりありませんが、見えにくいところで自然のバランスが崩れている可能性があります。それは時間と共に大きくなり、いずれはハッキリとした形で表れ、人間の生活に影響を与えるかもしれません。そうなるからでは取り返しがつかないと思います。
 和田 和田さん、いいですか。
 司会 はい、ありがとうございます。
 大野 他に質問のある人はいませんか。大野さん、どうぞ。
 司会 アメリカザリガニ以外にも、外国から持ち込んで日本で増えてしまった生き物はあるのですか。
 司会 二班、お願いします。
 板野 有名な生き物では淡水魚のブラックバスがあります。釣りを楽しむために日本の池などに放した結果、もともと住んでいた魚や生き物がブラックバスに食べられてしまい、その池からがいなくなってしまうという例があります。
 大野 わかりました。ありがとうございます。
 司会 他にはありませんか。はい、野本さん。
 野本 はい。絶滅危惧種を保護する活動をしている人たちはいるのですか？
 司会 二班、お願いします。
 板野 世界中でいろんな国や団体が取り組んでいます。日本でも「野生動物植物保存法」という法律があり、国をあげて保護しようとしています。
 「後略」

問七 別な班の山内さんは二班の発表とその後の質疑応答を聞いて、自分の考えをまとめました。発表の趣旨や質疑応答の内容に沿って適切にまとめられているものを、ア～オの中から一つ選びなさい。

【説明や質疑応答、意見交換から自分の考えを広げる】

- ア 生き物の絶滅について、いろいろ学ぶことができました。自然はつながり合っていると知ったので、目には見えない部分もあることを理解しながら行動していきたいです。
- イ 日本には自分の知らない法律があることを知りました。いろんな法律をしっかりと理解して、他の人に迷惑をかけない生活をしていきたいと思いました。
- ウ 人間は自然に対して多くの悪影響を与えていることがわかりました。これからは限りある資源を大切に、環境に優しい生活をしていきたいと思えます。
- エ ニホンザリガニが絶滅しそうなことを知りました。これから川に行くときには注意深く見て、少しでも多くのニホンザリガニを保護してあげたいと思います。
- オ ブラックバスが日本の生態系に影響を与えているということがわかりました。私は釣りをするので、ブラックバスをたくさん釣りたいです。



【話聞1 絶滅危惧種についてプレゼンテーションしよう】

問一	a ○	b ×	c ○	d ×	問二	エ	問三	岡田
問四	エ	問五	板野	ウ	杉本	イ	問六	ア
							問七	ア

解説

問一 調べる対象がわかっている場合には、情報の検索をして調べるのできる方法が有効です。速報が知りたい場合はテレビやラジオが有効です。

問二 聞き手がどのように考えながら聞くかを想定し、聞き手の抱きそうな疑問や意見を予想しておきましょう。発表の流れに無理や矛盾や飛躍がないか、わかりにくい言葉がないかなどが、その視点となります。

もしテーマから離れた質問（イ、ウ）がでた場合には、無理せず答えられる範囲で答えます。説明した内容をもう一度聞く質問（ア、オ）が出た場合は、説明にわかりにくい部分があったのかもしれないので、ていねいに説明し直しましょう。

問三 発表の際にはもつとも強く伝えたい部分をはっきりさせておき、そこを伝えるために周りをどう構成するか、という考え方で組み立てていきましょう。このプレゼンテーションでは主張を最後に設定しています。

問四 主張を印象づけるためには、発表の流れをどう組み立てるかが大切です。そのためには聞き手の興味関心を引くために絵を用いたり、聞き手に考えさせる問を発したりなどの工夫が必要です。

問五 プロジェクターは聞き手の視線を一カ所に集めるので説明しやすくなるという強みがあります。聞き手がメモを取りながら聞くことになり、視線が逆に動きやすくなるという弱みもあります。印刷物は資料として手元に残るといふ強みがありますが、話し手の方を見ず印刷物だけを見て話を聞くことになるという弱みがあります。それぞれの発表の場面ごとにどの方法が有効か考えて使い分けましょう。

問六 資料は話し手の伝えたいことを補助するためのものです。言葉だけではイメージしにくかったりわかりにくかったりする部分を、図や表で表すことで理解しやすくとする。この視点で作る、用いましょう。

問七 発表を聞く際には話し手が一番伝えたかったことは何なのかを理解するように気をつけて聞き、その上で賛成でも反対でもかまわないので、自分の意見を持てるようにしましょう。話の中には具体例が用いられることがあります。そこにこだわると話の趣旨をとらえにくくなるので注意が必要です。今回のプレゼンテーションのテーマは自然のつながりについてなので、それに合わせて考えをまとめます。